

令和2年2月10日

浜田市議会議長
川神 裕司 様

議員名 道下 文男



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和2年1月27日（月）～28日（火）
2. 研修内容 令和元年度第3回市町村議会議員特別セミナー
 - 1 社会福祉と財政システム・・・京都大学大学院経済学研究科/地球環境学堂 教授：諸富 徹
 - 2 超高齢化社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり
・・・東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授：辻 哲夫
 - 3 児童福祉の現状と課題・・・関西大学人間健康学科 教授：山縣 文治
 - 4 障がい者の就労と暮らしの支援について
・・・東近江圏域働き・暮らし応援センター“Tekitoー” センター長：野々村 光子
3. 研 修 先
公益財団法人全国市町村研修財団「全国市町村国際文化研究所」
4. 調査経費 34,280 円
(経費内訳 受講料 6,650 円 、交通費 27,630 円)
5. 調査研究活動の概要
 - ①視察に至った経緯
「J I A M」で議員力を高めようとの、創風会の澁谷会長の音頭でセミナーに参加した。
 - ②視察の内容
 - 1 社会福祉と財政システム
■講演＝京都大学大学院教授：諸富 徹氏
講演内容
 - 1、日本財政の現状
 - 2、社会保障の財政規模
 - 3、福祉国家モデルと費用負担制度
 - 4、「社会保険モデル」から「普遍主義モデル」へ
 - 5、医療保険の場合～「老人保健制度」（「後期高齢者医療制度」）の創設



- 6、日本の社会保障制度と費用負担原理
- 7、社会保障を誰がどのように負担するのか ～日本の税制～
- 8、所得税の現状
- 9、法人税の現状
- 10、近年の法人税改革
- 11、消費税
- 12、グローバル化と税制

所感

- ・諸富教授から、日本財政の現状と社会保障の財源規模についての講義があり、社会保障は、当初はドイツ型の社会保険システムとして始まり、次第にイギリス的な普遍主義的方向に移行していったバブル崩壊時の1991年とくらべて2019年には2倍となったこととの説明があり、今後はグローバル化に対応可能な国内税制に改革していく必要があるとの指摘をされた。世界各国の状況を見据えつつ、消費税の重要性と社会保障の機能の充実をセットで考える必要があるとの説明があった。また、デジタル課税の論議についても説明がなされ、もはや日本も、そして地方自治体においてもそのようなことを踏まえた財政運営が必要であるとの思いがした。

2 超高齢化社会の現状と地域包括ケアシステムによるまちづくり

■講演：東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授：辻 哲夫氏

講演内容

- 1、超高齢化社会
 - 個人の長寿化（人生100年）
 - 社会の高齢化（75歳以上、85歳以上）
 - 認知症（共に暮らす社会）
 - 世帯構造（高齢者一人暮らしが基本）
 - 2040年までが日本の正念場
- 2、高齢期の自立度
 - 特に重要な新しい要素（フレイルと在宅医療）
- 3、政策の基本方向
 - 地域包括ケア
 - ・できる限り元気で、弱っても安心して過ごせる地域づくり
 - 地域包括ケアの深化
 - ・自助互助の重要性
 - ・テクノロジーを活用したまちづくりへ向かう

所感

- ・辻教授の講義は、熱意のある聞く人を引き込むものであり、且つわかりやすくまずはそこに感心した。教授は、今後の日本においては超高齢化社会を迎えると共に認知症有症率も上がって、フレイル（加齢による心身の衰え）予防が重要であると訴えられ、そこで地域包括ケアシステムとICTによる在宅医療と訪問看護の重要性、それを取り巻く「まちづくり」と「就労」が大きなキーポイントであると訴えられた。そして、①2040年を見据え、健全な危機意識をもって共生社会の実現をめざせ！ ②「俺がやる」職員を創れ！

③子育て支援施策の弛まざる努力をせよ！ と説かれた。

3 児童福祉の現状と課題

■講演＝関西大学人間健康学科 教授：山縣 文治氏

講演内容

1、子育て施策を巡る環境

- 2040年に市町村はどうなっているのか
- 人口はどこまで維持できるのか
- 保育所・幼稚園はどうなってきたのか
- 保育所・幼稚園・認定こども園施策を充実するだけで就学前の子育て支援は大丈夫か
- 就学前の「学校教育」は衰退か充実か

2、子育て支援の重要性

- 現代社会には媚びる三つの病気
- 子育て支援のターゲット
- 子育て支援の目標
- 子育て支援と地域社会

3、子ども虐待について

- 共通性はなに
- 虐待の発生要因
- 虐待相談
- 子ども虐待の支援で意識しておくべきこと
- 市町村の課題：窓口の整理

所感

・山縣教授の講義を聞いて、子育て支援の重要性を改めて痛感した。

4 障がい者の就労と暮らしの支援について

■講演＝東近江圏域働き・暮らし応援センター“Tekito-”センター長：野々村 光子氏

講演内容

- “10年後の彼を見つめた就労支援”～未来への下ごしらえ～

所感

・まず驚いたのは、こういう人物が全国にはいるんだなあと思った。そして女性であることで事業が成功している面があるんだろうなと感じると共に、強い信念と熱い想いを感じた次第である。こういう地域のお宝である人物を掘り起こして大事に育てていくことが、今まさに求められているのであらうと感じた。野々村 tekito- センター長に感服！

